

今年の議会活動を振り返って

川崎市議会議員 いわくま ちひろ



民進みらい川崎市議団 連載No.102

新しい年を迎えました。昨年の流行語大賞のひとつに「**忖度**」**そんな**「**忖度**」という言葉が選ばれました。森友・加計学園に対し、官僚がトップの顔色をうかがい便宜を図ったのではないかと、国会で取り沙汰されました。その後、会計検査院により国の不明瞭な政策判断が厳しく指摘されたところで、川崎市でも特定の団体への忖度案件ではないかと、疑義が生じる事案がいくつか散見されます。本年も議会の本分である予算・決算の調査活動を市民目線でチェックしていきたいと思えます。

2017年・市議会本会議における質問要旨

- | | | | |
|-------|---|-------|--|
| 9月議会 | 住宅供給公社・市営住宅管理代行制度
英語学習・外国語指導助手(ALT)配置事業(※1)
学校給食費の調査 | 9月議会 | 庁内通送便での政治資金パーティ券の配布(※2)
基礎調査調整費を使っている浮世絵活用(※3)
行財政改革の効果の検証 |
| 12月議会 | 災害時における市内応急仮設住宅の確保
市職員の人事評価制度の改善
川崎縦貫高速鉄道事業(地下鉄事業)の検証 | 12月議会 | カルッツかわさきの施設整備
不明瞭な浮世絵の活用
市立高津高校の整備・改修
出資法人改革・市職員の再任用制度 |

英語学習(※1)については、国 扱う部署に無断で侵入したことに対する中、学校現場の整備が追いついていない現状がありました。公立校ブライアンズが欠如している案件との児童生徒たちが生の英語に触れるして大いに懸念しています。

浮世絵の活用(※3)については、配置を毎年継続して求め、現在では忖度案件ではないかと危惧しています。週1回、必ず外国人の指導助手とともに学習できる環境を整えました。前記した市長選を支えた業界団体に学習できる環境を整えました。体からなる政治団体の顧問が代表を務める社団法人が所有する浮世絵に**庁内通送便を使っての政治資金パーティ券の配布**(※2)については、浮世絵が市で昨秋に行われた市長選挙を巡り、市 検討されています。寄贈もされてい内業界団体で構成された政治団体のない文化財に、なぜ市民の税金を投関係者が、公文書しか扱うことのできない市役所内の行政情報課に無断 絵の活用については否定しませんが、市は寄贈の確約も当該団体と交援のための政治資金パーティ券を配 布した事実を厳しく調査しました。備ありきで事業を進めることに強い侵入者は、元市職員であることが判 違和感があります。特定の団体に配明しましたが、これが現職の市職員 慮した最初から結論ありきの予算支による行為だったならば法に抵触す 出ではないのか?今後、行政入はるべくしました。その後、公文書を 情報公開を強く求めていきます。